

「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」の一部改正と 平成31年度中小企業者向け契約目標の設定について

平成31年3月29日
経済部地域経済局中小企業課

1 推進方針について

- 道は、平成15年11月に「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」（以下「推進方針」という。）を策定し、中小企業者等向けの契約の目標値を毎年度設定するとともに、受注機会の確保・拡大のための様々な措置を講じている。

＜中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための主な措置＞

- 中小企業者等向け契約目標（単位：％）

	物 品	工 事	役 務	計
平成30年度目標値	72.0	94.2	81.3	90.1

※目標値は、年度当初の段階で決定し、年度途中で前年度実績が確定した段階で必要に応じて修正

- 指名競争における対応 ～指名実績のない道内中小企業者の選定 など
○ 一般競争における対応 ～道内に本店を有することなど事業所の所在地に関する地域要件を設定
○ 随意契約における対応 ～見積書は地元業者・中小企業者を徴取
○ 分離・分割発注の推進 など

- 「推進方針」では、社会情勢等の変化や国が毎年度策定する「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」（以下「国の方針」という。）を勘案し、必要な見直しを行うことを規定。

2 推進方針の一部改正について

- 受注中小企業者等に「働き方改革」を推進するよう働きかけることを明記

道は、「働き方改革」を推進するため、早期発注や工事における予算の繰り越しなどによる発注の平準化や適正な納期・工期の設定などの取組により、道内中小企業等の「働き方改革」に発注面から一層配慮しているところであるが、受注中小企業者等に対しても、「働き方改革」を推進するよう働きかけることとし、関係する記述を改める。
(推進方針4-(17))

現 行	改正後（案）
<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置</p> <p>（中略）</p> <p>(17) 雇用確保に関する働きかけ 物品等の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、道民が安心して働けるように、雇用の維持確保に努めるよう働きかけるものとする。</p> <p>特に、工事の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、通年雇用化等の取組を理解し季節労働者及び離職者の積極的な雇用に努めるよう文書等で働きかけるものとする。</p>	<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置</p> <p>（中略）</p> <p>(17) 雇用確保等に関する働きかけ 物品等の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、道民が安心して働けるように、雇用の維持確保に努めるとともに<u>働き方改革を推進するよう働きかけるものとする。</u></p> <p>特に、工事の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、通年雇用化等の取組を理解し季節労働者及び離職者の積極的な雇用に努めるよう文書等で働きかけるものとする。</p>

3 平成31年度中小企業者等向け契約目標について

(1) 平成30年度上期実績と分析

ア 平成30年度上期実績

(単位：金額ベース%)

	物品	工事	役務	合計
目標値	72.0	94.2	81.3	90.1
実績値	65.1	95.5	83.4	91.5

イ 要因

- ・「物品」～免許証プリンター用消耗品など道内中小企業の取扱いのない物品が一定量あったことや政府調達案件である除雪車の購入などの入札で、道内中小企業以外の者が落札したことなどにより、実績値が目標値を下回った。
- ・「工事」～事業所の所在地を道内に限定した一般競争入札において、金額が大きい防災、災害復旧工事などを、道内中小企業を含むJVが落札したことなどにより、実績値が目標値を上回った。
- ・「役務」～総合行政情報ネットワーク保守・運用業務委託など金額の大きな業務を道内中小企業と随意契約したことや、事業所の所在地を道内に限定した一般競争入札において、金額が大きい公共土木施設維持管理業務委託などの業務を道内中小企業が落札したことなどにより、実績値が目標値を上回った。

(2) 平成31年度契約目標値設定の考え方

平成30年度上期実績と過去の傾向値を勘案して1年間の通期実績を予測し、平成31年度の目標値を設定。

(単位：金額ベース%)

	H30上期	傾向値 (過去5年の傾向)	H30通期実績 予想値	H30目標値	H31目標値
物品	65.1	+ 3.4	68.5	72.0	72.0
工事	95.5	- 1.3	94.2	94.2	94.2
役務	83.4	- 1.9	81.5	81.3	81.3
計	91.5			90.1	90.1

※傾向値～通期実績値と上期実績値の差の5年平均

- ・「物品」～下期は契約割合が高くなる傾向にあるものの、H30通期実績予想値はH30目標値を下回っていることから、まずは目標の達成に努めることとし、H30目標値と同じとする。
- ・「工事」～下期は契約割合が下がる傾向にあり、H30通期実績予想値はH30に引き上げたH30目標値と同じであるが、今後の実績値の推移を見ることとし、H30目標値と同じとする。
- ・「役務」～下期は契約割合が下がる傾向にあり、H30通期実績予想値はH30に引き上げた目標値を上回っているが、今後の実績値の推移を見ることとし、H30目標値と同じとする。

(3) 目標値及び実績値の推移

[北海道]

(単位：金額ベース%)

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30 上期	H30通期実績 予想値	
目標値	物品	69.2 →				72.0 →											
	工事	91.3 →				92.8 →										94.2 →	
	役務	77.7 →														81.3 →	
	合計	89.0 →				89.9 →										90.1 →	
実績値	物品	69.4	68.3	71.0	74.3	71.2	71.9	69.7	68.7	67.1	63.2	64.9	66.6	67.9	64.8	65.1	68.5
	工事	90.8	91.7	94.1	94.8	89.5	93.4	94.6	94.9	92.1	94.2	88.9	92.8	96.7	91.9	95.5	94.2
	役務	73.2	68.2	69.2	67.9	66.9	67.8	63.3	66.1	70.2	69.9	71.7	79.1	82.5	83.5	83.4	81.5
	合計	87.6	87.6	89.6	90.6	86.0	89.1	89.3	89.4	87.4	89.3	85.3	88.3	91.9	88.9	91.5	—

※H30の目標値は通年